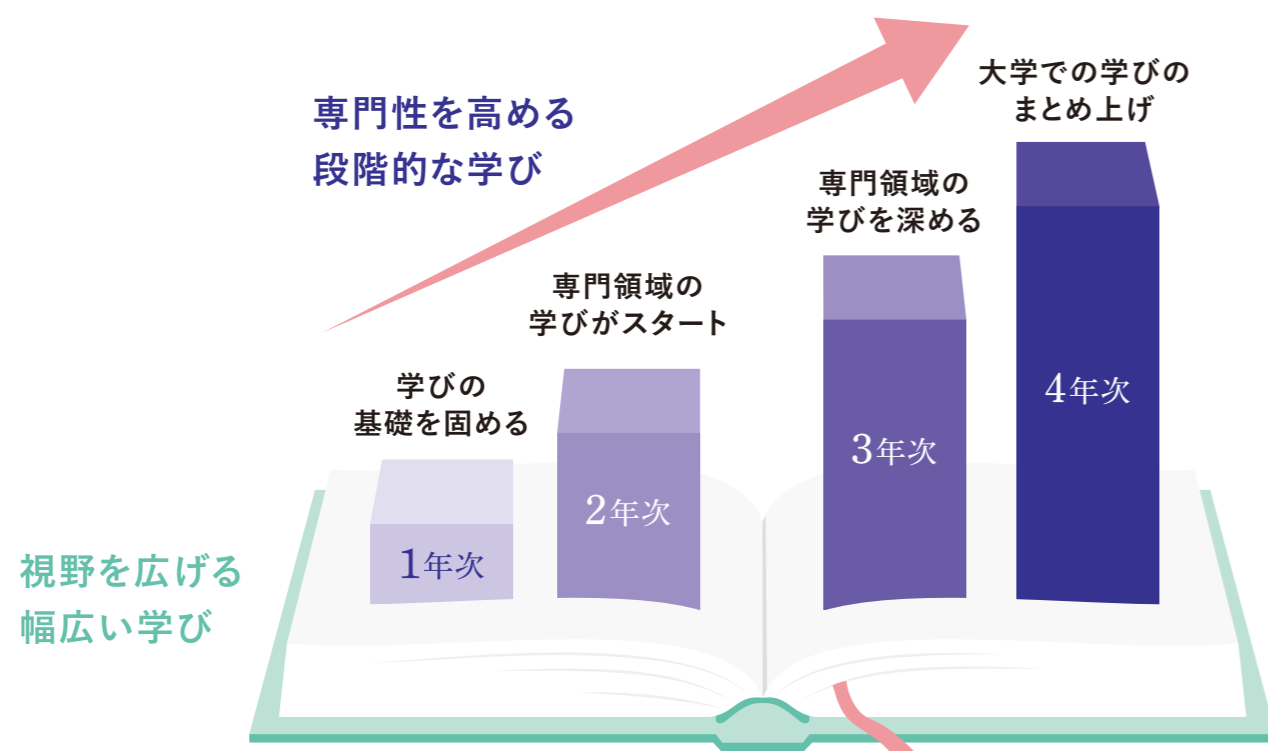


可能性を広げる 佛教大学の学び

I 一人ひとりの成長を促す学びのシステム



1 年次 大学で学ぶために必要な学力を身につける

建学の精神に基づく「ブツダと法然」、教養を培う全学教養科目(基礎領域)、外国語、「コンピュータ・リテラシー」、大学で学ぶための基礎能力を養う「専門学修のための日本語表現」「入門ゼミ」など、専門領域の基礎知識を学びます。

2 年次 専門領域に関する問題や課題を発見する

1・2年次で修得した知識や技能を活用し、卒業後に社会人として多角的に物事を判断できるようさらに深く学びます。また、専門領域に関する問題や課題を発見し、その解決に向けて自分の考えを深めます。

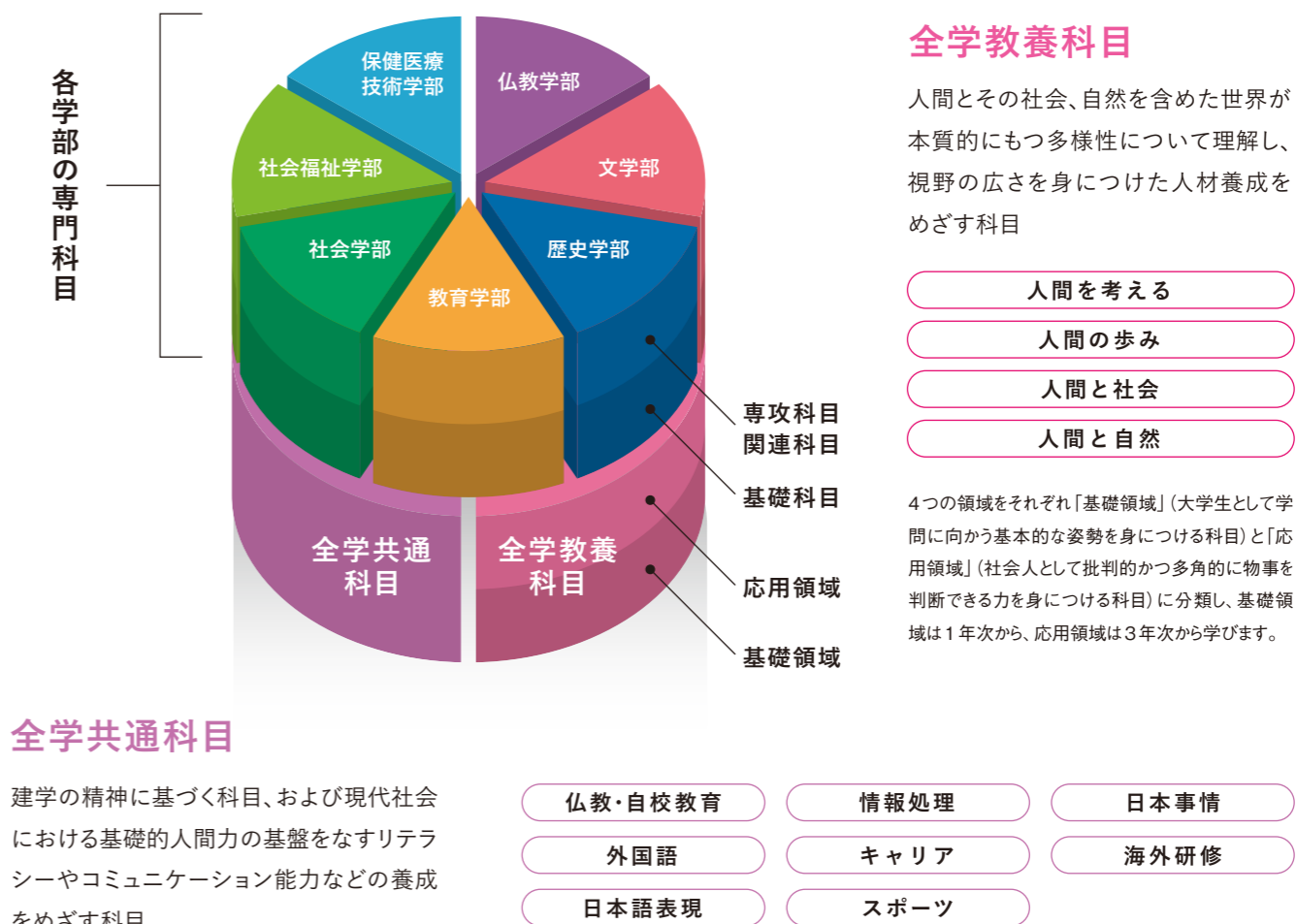
3 年次 専門領域の学修が本格的にスタート

専門領域に関する科目や、教職課程や諸資格に関する科目の学習が本格的にスタートします。1年次の学びをベースに、各分野の専門性を高めます。

4 年次 大学4年間の学びをまとめる

大学での学びで獲得した知識・技能が生きる力として身につけているのか、卒業研究(論文・レポート等)によって大学生生活の学修成果としてまとめ上げます。

II 教養を礎に各学部の専門的な内容を バランス良く身につける4年間のカリキュラム



全学教養科目
人間とその社会、自然を含めた世界が本質的にもつ多様性について理解し、視野の広さを身につけた人材養成をめざす科目

- 人間を考える
- 人間の歩み
- 人間と社会
- 人間と自然

4つの領域をそれぞれ「基礎領域」(大学生として学問に向かう基本的な姿勢を身につける科目)と「応用領域」(社会人として批判的かつ多角的に物事を判断できる力を身につける科目)に分類し、基礎領域は1年次から、応用領域は3年次から学びます。

全学共通科目

建学の精神に基づく科目、および現代社会における基礎的人間力の基盤をなすリテラシーやコミュニケーション能力などの養成をめざす科目

- 仏教・自校教育
- 情報処理
- 日本事情
- 外国語
- キャリア
- 海外研修
- 日本語表現
- スポーツ

●大学コンソーシアム京都(単位互換制度)

大学コンソーシアム京都は、佛教大学をはじめ、京都にある約50の大学・短期大学が集まり、学生の学びや活動をサポートする公益財団法人。ここに参加する大学で履修した科目を、佛教大学の全学共通科目の単位として認定する制度があります。

●佛教大学の「初年次教育」

大学の学びの基盤作りとして、1年次から少人数による「入門ゼミ」を必修科目とし、1年間を通して、レポートの書き方や図書館での文献検索の方法などを学び、自立的に学修するための基本的な学び方を習得します。「専門学修のための日本語表現」では、学部の専門的学習の基礎を固めるため、「入門ゼミ」の内容に加え、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて、よりアカデミックな日本語表現能力を身につけることをめざします。



Student's Voice



さまざまな分野に触れる学びで、
興味が広がりました。

馬場 海人さん
社会福祉学科2年生
大阪府・吹田東高校出身

1年次では学科の学びに限らず、レポートの書き方や効果的な図書館の利用方法など、大学での学習の基本を身につけることができます。また、いろいろな分野の基礎を学ぶおかげで、新たな興味を抱くことも。私自身、「入門ゼミ」を通して児童福祉に関心を抱くようになりました。将来は児童福祉の視点を持ち合わせた教育者をめざし、これからも勉学に励みたいですね。